

STANDARD

証券コード:9051



Senkon Logistics Report

第64期 事業のご報告

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日



センコン物流株式会社

Logistics Innovation

ロジスティックの新たな時代へ、高度なサービスの新フィールドを創造します。



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当社第64期のご報告をお届けいたしますので
なにとぞよろしくお願い申し上げます。

当連結会計年度の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和されたことにより経済活動が正常化しつつあるものの、半導体の供給不足やウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の高止まりと円安の進行等による物価上昇圧力が強まったことなどにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、物流事業において国内及び国際貨物輸送量の回復の動きは鈍く、また、燃料価格の高止まりや電気料金の値上がりに加え、乗用車販売事業においては長引く半導体及び部品等のサプライチェーンの混乱による自動車メーカー側の生産調整など、依然として厳しい状況が続きました。

このような経営環境のなかで当社グループは、引き続き各事業分野において社会環境等の変化や顧客ニーズに対応したソリューション型の営業活動及びCS（顧客満足度）活動を展開するとともに、継続した3PL（企業物流の包括的受託）事業、アウトソーシング事業、フォワーディング事業、レコードマネジメントサービス事業及びトランクルーム事業の専門化に注力するとともに、各事業分野における新たな領域での戦略を推進しながら、海外向け食品等の輸出拡大など、事業の伸長に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は、倉庫事業においてアウトソーシング事業等での受注高が増加しましたが、運送事業においては中国のゼロコロナ政策による経済活動の抑制などにより海上コンテナ貨物の取扱いが減少したことに加え、乗用車販売事業においては半導



CEO（最高経営責任者）
代表取締役会長
久保田 晴夫

体や部品等のサプライチェーンの混乱による自動車メーカー側の生産調整などにより、新車販売台数が減少したことにより、16,249百万円（対前年同期比97.1%）となりました。

利益面におきましては、減収の影響などにより、営業利益は739百万円（対前年同期比90.6%）、経常利益は802百万円（対前年同期比98.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益は前期に連結子会社（1社）において計上した固定資産に係る減損損失が無くなったことなどにより、522百万円（対前年同期比106.6%）となりました。

配当金について

2023年6月29日開催の定時株主総会において、第64期の期末配当金を、1株につき7.50円とさせていただきますことに決定しました。

今後も、株主の皆様への利益還元を念頭に置きながら、安定的な配当の継続と内部留保の充実に努めてまいります。

進化する物流

☑ 輸送サービス

多様なネットワークを駆使して、安全かつスピーディーな輸送システムを構築しています。

☑ 保管サービス

入庫から在庫まで、独自のコンピュータシステムで一元管理。物流の合理化に貢献しています。

☑ システム物流

お客様の活動に即した最適な物流システムを構築し提案します。

☑ 文書保管サービス

過去の文書から未来のデータまで、あらゆるニーズに応える情報管理サービスを行います。

☑ 機密文書リサイクル

不要になった機密書類は溶解処理で安全・確実にリサイクルします。

☑ 引越サービス

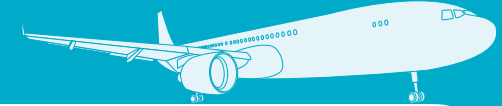
センコン物流の能力をオフィス移転や引越にトータルに活かします。

☑ 流通加工サービス

輸送・保管業務の効率化から流通加工まで、物流合理化への付加価値を高めます。

☑ 国際物流サービス

陸・海・空の複合一貫輸送システムを展開。東北の国際物流を強力にサポートします。



事業別の状況

運送事業

運送事業につきましては、中国のゼロコロナ政策による経済活動の抑制などにより海上コンテナ貨物の取扱い及び自動車関連貨物等の輸送量が減少したことなどにより、営業収益は4,945百万円(対前年同期比95.2%)となりました。営業損益は、減収の影響と燃料価格の高止まり及び輸送車両のメンテナンス費用の増加などにより、18百万円の損失(前年同期は24百万円の損失)となりました。

倉庫事業

倉庫事業につきましては、化学・石油ゴム製品及び建設関連貨物等の受注高が増加したことなどにより、営業収益は3,888百万円(対前年同期比102.7%)となりました。営業利益は、電気料金の値上がりなどにより、938百万円(対前年同期比97.2%)となりました。

乗用車販売事業

乗用車販売事業につきましては、半導体や部品等のサプライチェーンの混乱による自動車メーカー側の生産調整などにより、新車販売台数が減少したことにより、営業収益は6,900百万円(対前年同期比95.9%)となりました。

営業利益は、サービス部門(車検・点検修理等)の増収効果と中古車販売の台当たり粗利益が向上しましたが、新車販売収益の減少を補えず、222百万円(対前年同期比97.3%)となりました。

再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、日射量はほぼ横這いで推移したことにより、営業収益は234百万円(対前年同期比100.5%)となりました。営業利益は、前期に計上した太陽光発電システム(PCS)の修繕費用が無くなったことなどにより、83百万円(対前年同期比117.0%)となりました。

アグリ事業

アグリ事業につきましては、農産品等の店舗委託販売が増加したことなどにより、営業収益は150百万円(対前年同期比107.0%)となりました。営業損益は、商品発送費の高騰と人件費関連費用の増加などにより、5百万円の損失(前年同期は3百万円の利益)となりました。

その他の事業

その他の事業につきましては、不動産事業、リース事業において取引高が減少したことなどにより、営業収益は195百万円(対前年同期比76.0%)となりました。営業利益は、減収の影響などにより、4百万円(対前年同期比63.6%)となりました。

次期の見通し

今後の当社グループを取り巻く経営環境におきましては、労働力不足や2024年問題への対応及び燃料価格の高止まりや電気料金の値上げに加え、長引く半導体及び部品等の供給不足による自動車メーカー側の生産調整による顧客へ

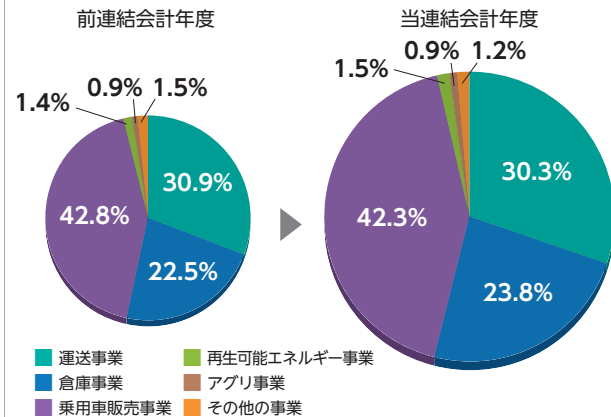
の納期遅延など、更に厳しい状況が続くものと思われます。

このような経営環境のなかで当社グループは、引き続き社会環境等の変化や顧客ニーズに対応したソリューション型の営業活動及びCS(顧客満足度)活動の展開を図るとともに、物流の起点である現場業務の効率化や最適化を基本に企業間物流においては、徹底的な専門化に取り組む一方、個人向け型の事業モデルの構築を進め事業領域の拡大に努めながら、ES(従業員満足度)経営を意識した労働環境の改善、プロフェッショナルの育成、安全教育、安全管理及び内部管理体制の充実に取り組んでまいります。

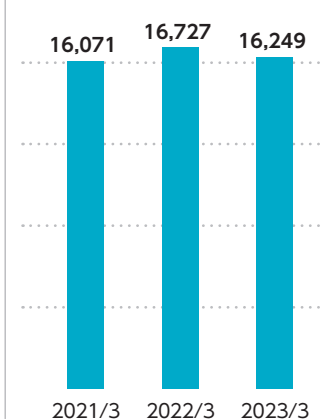
また、利益向上に向け当社グループ間での情報共有を密に行いながら、個々の事業の特長を最大限に発揮するための組織改革や経営資源配分の最適化による資産の効率化と財務の健全化を図っていく所存であります。

次期の連結業績につきましては、前述のとおり当社グループを取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、営業収益16,800百万円、営業利益670百万円、経常利益660百万円、親会社株主に帰属する当期純利益440百万円を見込んでおります。

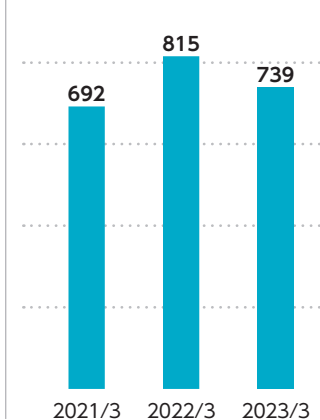
事業別営業収益構成比の変化



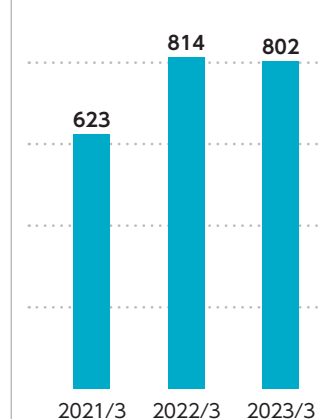
営業収益 (百万円)



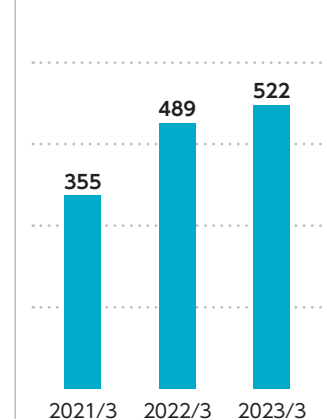
営業利益 (百万円)



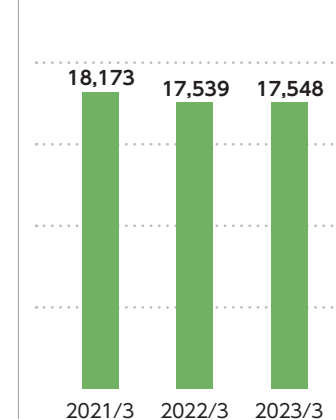
経常利益 (百万円)



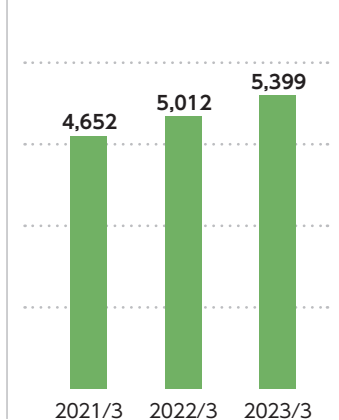
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



総資産 (百万円)



純資産 (百万円)





連結貸借対照表

科目	当連結会計年度 (2023年3月31日現在)	前連結会計年度 (2022年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,551,629	5,693,520
現金及び預金	2,584,882	2,807,369
受取手形及び営業未収入金	1,692,989	1,748,161
営業貸付金	55,490	55,490
商品	1,019,752	881,516
貯蔵品	15,302	22,670
その他	233,325	226,859
貸倒引当金	△50,112	△48,546
固定資産	11,996,585	11,845,852
(有形固定資産)	(9,964,593)	(9,912,975)
建物及び構築物	2,549,142	2,750,961
機械装置及び運搬具	1,351,392	1,501,605
土地	5,595,451	5,206,402
建設仮勘定	171,327	147,977
その他	297,278	306,029
(無形固定資産)	(67,819)	(44,068)
(投資その他の資産)	(1,964,173)	(1,888,808)
投資有価証券	397,029	359,680
長期貸付金	968,338	933,484
繰延税金資産	210,920	199,591
その他	911,719	917,618
貸倒引当金	△523,834	△521,565
資産合計	17,548,215	17,539,372

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

科目	当連結会計年度 (2023年3月31日現在)	前連結会計年度 (2022年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	6,503,051	6,620,818
支払手形及び営業未払金	1,522,953	1,498,985
短期借入金	1,322,348	1,094,056
1年以内返済予定長期借入金	1,921,506	2,236,520
リース債務	140,201	184,754
未払法人税等	154,818	157,686
未払消費税等	72,567	87,373
賞与引当金	118,941	123,124
役員賞与引当金	17,000	17,000
災害損失引当金	—	13,627
その他	1,232,716	1,207,692
固定負債	5,646,160	5,906,434
長期借入金	4,695,697	4,855,359
リース債務	382,442	456,588
役員退職慰労引当金	230,418	206,403
退職給付に係る負債	207,902	212,377
長期末払金	49,635	86,462
資産除去債務	42,379	42,049
その他	37,683	47,193
負債合計	12,149,212	12,527,253
純資産の部		
株主資本	5,165,317	4,784,266
資本金	1,262,736	1,262,736
資本剰余金	1,186,733	1,186,733
利益剰余金	3,170,307	2,724,298
自己株式	△454,459	△389,501
その他の包括利益累計額	27,842	29,704
その他有価証券評価差額金	28,793	31,158
為替換算調整勘定	△1,737	△1,340
退職給付に係る調整累計額	786	△113
非支配株主持分	205,843	198,149
純資産合計	5,399,003	5,012,119
負債純資産合計	17,548,215	17,539,372

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

科目	当連結会計年度 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	前連結会計年度 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
営業収益	16,249,195	16,727,466
営業原価	13,238,531	13,785,219
営業総利益	3,010,663	2,942,247
販売費及び一般管理費	2,271,640	2,126,265
営業利益	739,022	815,981
営業外収益	144,225	66,523
受取利息	12,367	12,396
受取配当金	10,790	9,573
受取手数料	2,798	2,346
受取保険金	37,576	5,979
投資有価証券売却益	52,099	—
為替差益	789	3,637
その他	27,804	32,590
営業外費用	80,818	68,302
支払利息	55,398	59,286
貸倒引当金繰入額	10,000	—
その他	15,420	9,016
経常利益	802,429	814,203
特別利益	15,868	31,225
固定資産売却益	5,506	10,230
貸倒引当金戻入益	10,272	10,272
災害損失引当金戻入額	90	2,038
新株予約権戻入益	—	8,656
その他	—	27
特別損失	8,036	104,400
固定資産売却損	—	447
固定資産除却損	5,036	11,736
減損損失	—	28,993
貸倒引当金繰入額	—	33,631
投資有価証券評価損	—	13,000
関係会社出資金評価損	3,000	—
災害による損失	—	13,876
その他	—	2,716
税金等調整前当期純利益	810,261	741,027
法人税、住民税及び事業税	277,437	247,664
法人税等調整額	△10,742	△15,097
当期純利益	543,567	508,460
非支配株主に帰属する当期純利益	21,444	18,888
親会社株主に帰属する当期純利益	522,122	489,572

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当連結会計年度 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	前連結会計年度 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	935,943	1,049,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△474,844	△188,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	△683,863	△1,017,320
現金及び現金同等物に係る換算差額	277	332
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△222,486	△155,972
現金及び現金同等物の期首残高	2,782,369	2,938,341
現金及び現金同等物の期末残高	2,559,882	2,782,369

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。



Topics
1

群馬県千代田町に倉庫用地を取得 トランクルーム事業の需要拡大に応えます

既存の主要荷主からの要請を含めたEC型トランクルーム事業の需要拡大に伴い、群馬県邑楽郡千代田町に約1万坪の土地を取得しました。

新拠点を設け、更なる収益アップを図ります。



計画概要

拠点名：RM第6センター 延床面積：10,507.24㎡
建物：倉庫及び事務所 完成予定：2023年9月

Topics
2

中国現地で食品をプロデュース プライベートブランドの企画・提案

中国向け輸出におきましては、食品全般を取扱うとともに、難易度が高い水産品輸出にも取り組み、現在では東北エリアからコンテナ単位での輸出を可能としています。仕入れから販売・輸出まで当社独自の商流ルートを確認させることで、輸出入に関する一貫したサービスの提供を可能としております。

また、中国現地の取引先とコラボレーションし、各種食品のプライベートブランドを提案・企画し、商品化した商品を複数店舗に展開するサービスも提供しております。

今後も地域商社としてお客様の様々なニーズに応えてまいります。



Topics
3

WEBサイトをリニューアル 情報の充実を図っていきます

今年2月に当社WEBサイトをリニューアルしました。

今回のリニューアルでは、デザインやレイアウトを一新し、より使いやすく、より情報にアクセスしやすいWEBサイトを目指しました。

コンセプトは、「当社が取り組む多様な物流サービス」の魅力を知っていただくことです。そのための新コンテンツ追加や、デバイス問わず閲覧できるよう改善を図りました。

今後も内容の充実を図るとともに、多くの皆様にご利用いただけるようなWEBサイトの提供を目指してまいります。

こちらからアクセス

<https://www.senkon.co.jp/>





会社概要

(2023年3月31日現在)

商号	センコン物流株式会社 SENKON LOGISTICS CO.,LTD.
設立	1959年10月1日
従業員数	261名 (連結422名)
主な拠点数	国内22拠点
資本金	1,262,736,500円
主な事業内容	1. 一般貨物自動車運送事業 2. 貨物軽自動車運送事業 3. 貨物運送取扱事業 4. 倉庫業 5. 通関業

役員

(2023年3月31日現在)

【取締役 (監査等委員である取締役を除く。)]

代表取締役会長兼CEO	久保田 晴 夫
※ 代表取締役社長	久保田 賢 二
常務取締役	柴 崎 敏 明
取締 役	久保田 秀 揮
※ 取締 役	吉 川 淳 也
取締 役	黒 須 成 一

【監査等委員である取締役】

取締 役	小 柏 薫
取締 役	佐 藤 裕 一
取締 役	川 田 増 三

(注) 1. ※印は執行役員を兼務しております。
2. 監査等委員である取締役小柏 薫、佐藤裕一及び川田増三の各氏は、社外取締役であります。

【執行役員】

社長執行役員	久保田 賢 二
専務執行役員	吉 川 淳 也
常務執行役員	見 崎 以知郎

執行 役員	成 田 浩 憲
執行 役員	佐 藤 義 則
執行 役員	花 澤 聡一郎
執行 役員	齋 藤 充 彦

主要連結子会社の概要

(2023年3月31日現在)

(株)ホンダカーズ埼玉西	埼玉県狭山市 資本金90百万円 (当社議決権比率84.7%) 乗用車販売事業
(株)センコンエンタープライズ	宮城県名取市 資本金30百万円 (当社議決権比率100.0%) 乗用車販売事業、再生可能エネルギー事業、葬祭事業、採石事業 不動産事業、リース事業

主な拠点

(2023年3月31日現在)

宮城県	仙台本社 名取本社 本社営業所 仙台港営業所 仙台空港営業所 古川営業所 仙台北部ロジスティクスセンター RM事業部 船岡構内事業所
東北	北上営業所 金ヶ崎物流センター 花巻営業所 盛岡営業所 秋田営業所 秋田第3低温倉庫 福島営業所 山形営業所 東根物流センター 東根第二物流センター 東根構内事業所
関東・中部	東京営業所 新潟営業所

株式の状況

(2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	21,712,000株
発行済株式の総数	5,651,000株
株主数	1,675名

大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
久保田 純子	632,024	12.58
(株)日立物流	500,000	9.96
花澤 隆太	465,677	9.27
(株)富士ロジテックホールディングス	452,000	9.00
ニッコンホールディングス(株)	275,700	5.49
久保田 賢二	169,400	3.37
久保田 晴夫	151,100	3.01
(株)七十七銀行	148,000	2.95
(有)ハナザワ・コーサン	79,779	1.59
三井住友海上火災保険(株)	70,000	1.39

(注) 1. 持株比率は自己株式 (628,639株) を控除しております。
2. (株)日立物流は、2023年4月1日をもってロジスティード(株)に商号変更をしております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日 (中間配当をする場合)
その他必要があるときはあらかじめ公告して基準日を定めます。	

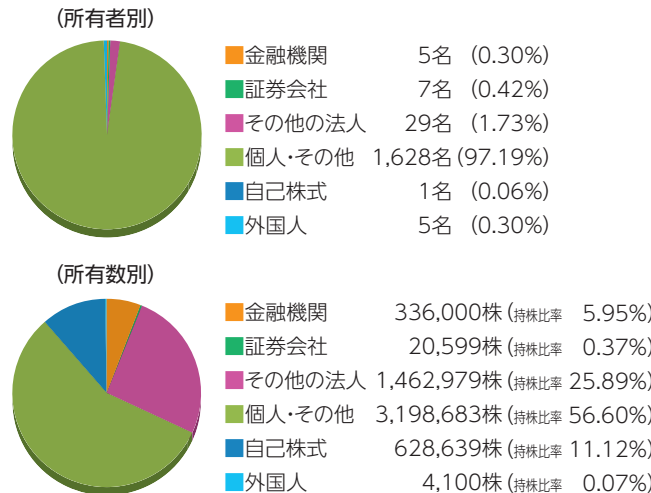
【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。なお、お手続き方法やよくある質問は、右記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

株式分布状況

(2023年3月31日現在)



(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
(よくあるご質問 (FAQ))
https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告 https://www.senkon.co.jp/ir/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

ホームページのご案内

<https://www.senkon.co.jp>

センコン物流のホームページでは、様々な企業情報やIR情報をお届けしています。
個人投資家の方もより分かりやすく、親しみやすくご覧いただけます。



トップページ



センコン物流とは



環境への取組み



IR情報

株主優待のご案内

株主の皆様へ日頃の感謝の意を込めて

当社は、株主の皆様へ日頃の感謝の意を込めて、
株主名簿に記録された株主様に対し半期毎にお米、東北の特産品を進呈しております。

- 所有株式数500株以上 ▶ お米5kgまたは東北の特産品
- 所有株式数1,000株以上 ▶ お米10kgまたは東北の特産品
- 所有株式数5,000株以上 ▶ お米10kg及び東北または北海道の特産品(計10,000円相当)
- 所有株式数10,000株以上 ▶ お米10kg及び東北または北海道の特産品(計15,000円相当)



※写真はイメージです。



〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷672-1
TEL: 022-382-6127(代) FAX: 022-382-0170

